



No.	団体名	事業等の名称	事業の概要			交付決定 年月日	事業予算(単位:円)		
			事業の背景	事業の目的	事業の内容		全体額	申請額	交付金額
1	上溝健康事業実行委員会	上溝健康体操事業	上溝地区内には70歳以上の高齢者が5,000人以上いる状況であり、今後も増加する。このような高齢社会の中、一人ひとりの高齢者が自立し、健康に生活していくことが地域にとっても重要であると考えられる。また、住民の高齢化に伴い、地域活動への参加者が減少し、住民同士の交流する機会が少なくなっており、住民同士の十分なコミュニケーションが図られていない状況がある。	地域住民の健康維持を図り、住民相互のコミュニケーションを充実させることにより、健康で健全な地域づくりと地域の活性化を目的とする。	地域の住民を対象に、健康維持や介護予防を目的に、年間を通じてラジオ体操指導者等を講師にむかえ、健康体操事業等を実施する。事業は、6月から3月まで15回を予定しており、ラジオ体操指導者等に講師をお願いする。また、相模原市主催の養成講座を受講した介護予防サポーターや健康づくり普及員が、講師の補助や事業の支援を行う。	H29.5.26	152,000	152,000	152,000
2	上溝夏祭りフェイスペイント事業実行委員会	上溝夏祭りフェイスペイント事業	郷土に古くから伝わる神輿や山車を公開し、まつりばやしなどの郷土の芸能を披露する上溝夏祭りであるが、子ども達が楽しめるイベントがあまりない。また、自治会や子ども会の加入率が低下しているなど神輿の担ぎ手や山車などの担い手も少なくなっている。このことから、上溝夏祭りを良いかたちで次世代に繋げるため、子ども達にも楽しめるイベントが必要ではないかという意見が地域にはあった。このことを受けて、平成26年度に上溝在住の東京造形大学の美術家の先生方に協力をいただき、上溝夏祭りの期間に子ども達のためのフェイスペイント事業を実施し、短い時間であったが多くの子ども達が参加し好評であった。このため、平成27年度より事業実施のための実行委員会を設立し、美術家の先生方だけでなく、地域住民等も事業に協力し、実施している。	<ul style="list-style-type: none"> 上溝夏祭りの期間に、次代を担う子ども達が楽しめるイベントを実施することで、子ども達の地域に対する愛着心や郷土愛を深める。 地域の子供達が、プロの美術家の指導や表現にふれることで、子ども達の豊かな人間性や想像力の向上に資する。 イベントの運営に地域住民や学生等を加え、地域住民間の交流を図り、地域の活性化に貢献する。 イベントの開催に自治会や子ども会等の地域活動団体が貢献・協力していることをPRし、地域活動団体の加入促進を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 上溝夏祭りの期間(7/23)に、子ども達が参加できる美術イベントを実施し、子ども達の地域に対する愛着心や郷土愛を深める。 イベントには、地域在住の美術家の先生に指導をお願いする。 イベントスタッフに地域住民や地域の学生等を加える。 イベントの開催に自治会や子ども会等の地域活動団体が貢献・協力していることをPRする。 子ども達に上溝シンボルマークを利用したグッズを配布し、地域に対する愛着心や郷土愛を深める。 	H29.5.26	190,000	190,000	190,000
3	上溝琴堂桜植樹式実行委員会	上溝琴堂桜植樹式事業	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年3月に上溝地区内の旧食肉公社跡地に「上溝さくら公園」がオープンした。この公園には、秋から春まで桜の開花が楽しめる8種類の桜が植樹されており、地域の魅力(セールスポイント)のひとつとして考えている。今回、新たに、郷土の偉人である尾崎行雄(琴堂)にゆかりのある桜(琴堂桜)が「尾崎琴堂を全国に発信する会」より寄贈されることになった。 上溝地区においても、他の地域と同様、人と人との連帯意識や支え合いの意識が希薄となっていること等に起因する自治会や子ども会への加入率の低下や地域活動の担い手や参加者の減少が問題となっている。 地区の課題である小田急多摩線の上溝までの延伸について、昨年4月にあった国の答申では、計画の実現に際して、収支採算性が課題とされており、計画の実現のためには、地域の賑わいが必要であると考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域のセールスポイントのひとつである上溝さくら公園に、新たな品種の桜の植樹式を実施することにより、地域の魅力のさらなる向上と活性化、まちの賑わいに貢献する。 「憲政の神様」として活躍した郷土の偉人の功績や琴堂桜について知る機会を作り、地域に対する愛着と誇りの醸成に貢献する。 事業を通じて様々な団体・個人が交流を深めることにより、地域の活性化に寄与する。 幅広い世代に受け入れられるイベントを実施することにより、地域住民の自治会活動や地域活動への理解を深め、自治会加入率の向上や地域活動への参加者増加を図る。 小田急多摩線の延伸や上溝駅開設推進活動についてのPRを行い、計画の早期実現に向けた住民意識の高揚の機会とする。 	上溝さくら公園で琴堂桜の植樹式典を高齢者から児童まで幅広い年代層の地域住民の参加を得て行うことで、尾崎琴堂の功績や琴堂桜の意義を理解し、郷土相模原・上溝に対する愛着と誇りを持つ機会とする。また、季節に因んだ歌を歌い、植樹を共に行い、また懇親の場を設けることで参加者の交流親睦を図り、地域への関心、課題の共有を図る機会とし、地域の賑わいに貢献する。	H29.5.26	252,000	114,000	114,000

No.	団体名	事業等の名称	事業の概要			交付決定 年月日	事業予算(単位:円)		
			事業の背景	事業の目的	事業の内容		全体額	申請額	交付金額
4	小田急多摩線延伸・上溝駅開設推進協議会	小田急多摩線延伸・上溝駅開設推進事業	<p>上溝地区では、小田急多摩線延伸事業を将来にわたる上溝のまちづくりの核となる事業と考えており、地区まちづくり懇談会においても、継続して市と懇談しているテーマである。</p> <p>また、昨年4月に同事業が国の交通政策審議会で意義あるプロジェクトと位置づけられたが、実現に向けては費用負担や採算性など多くの課題が指摘されており、将来を見据えたまちづくりや地域の賑わいが必要であると考えている。</p> <p>しかしながら、同事業に対する地域の取り組みは、他の沿線地域に比べ、今ひとつ盛り上がり欠けるように見え、次代の上溝を考えた時、地域が一体となり、早期実現に向け積極的に取り組む必要があると考え、昨年度、自治会や商店街等が中心となり、広報活動や講演会を実施し、本年3月に新たな推進組織である「小田急多摩線延伸・上溝駅開設推進協議会」を設立した。</p> <p>今年度についても、将来を見据えたまちづくりや地域の賑わいのため、継続した活動を実施する必要がある。</p>	<p>小田急多摩線延伸計画を上溝まで早期に実現させるため、地区住民が一体となり延伸推進活動を積極的に行い、また同時に近未来の上溝地区を希望にあふれ、賑わいのある、住みよいまちに創生することを目的とする。</p>	<p>上溝地区を希望にあふれ、賑わいのある、住みよいまちに創生するため、自治会や商店街など地域が一体となり積極的に小田急多摩線延伸計画の周知と広報活動等に取り組む。</p> <p>1. 小田急多摩線延伸計画の周知と事業の推進をアピールするための「のぼり旗」「横断幕」「ブルゾン」を作成し、地区内団体の活動やイベント等の際に掲示・貸与する。</p> <p>2. 商店街の街路灯に取り付けた「フラッグ」を効率よくアピールするためのバーを街路灯柱に付設し、地域住民に広く周知し、さらに関心を高めていく。</p> <p>3. 小田急多摩線延伸事業の状況や地域活動・まちづくり活動の状況等を地区内に周知するための情報紙を発行し、事業やまちづくり活動への関心を高めていく。</p>	H29.5.26	321,000	246,000	246,000
5	上溝本久・コスモスセンターふれあいまつり実行委員会	上溝本久・コスモスセンターふれあいまつり事業	<p>1. 住民が主体となり地域を創りあげていく意識の希薄化傾向</p> <p>2. 転入者の地域への関心が低く、自治会加入が低迷</p> <p>3. 高齢化が進む地域にとって、高齢者福祉施設との連携強化は喫緊の課題</p>	<p>・まつりの広報を通して転入者の自治会への関心を高め、加入促進を図るとともに、まつりへの参加を促すことで会員の自治会意識を高め、地域活動を活性化させる気運を高める。</p> <p>・地域にある福祉施設と地域内住民との連携やコミュニケーションを深める機会とする。</p>	<p>ふれあいまつりを地域の福祉施設と協働開催することで、事業内容の充実を図るもので、芸能発表、野外イベント、模擬店、作品展示等に参画することで地域住民相互の交流・親睦を深める内容とする。</p> <p>また、こうしたことにより、自治会員の地域福祉意識の向上の一助とするとともに、平常時も災害時も連携して行動できるよう福祉施設と自治会の双方の機能、活動内容の理解を深める契機とする。</p>	H29.8.22	173,000	173,000	173,000
6	中央区自治連自転車対策会議 (※8地区合同事業)	自転車事故撲滅のための交通安全啓発事業	<p>中央区は、数年に渡って自転車事故多発地域及び高齢者事故多発地域に指定されるなど、交通事故が非常に多い地域である。今年においても昨年を上回るペースで事故が発生しており、早急な対策が必要な状況である。</p> <p>各地区や各団体において、1件でも多く事故を減らすために取り組んでいるところではあるが、活動の範囲は地区内に限定され、広域的な活動はあまりされてこなかった。そこで、この自転車事故対策問題を中央区全体の課題と捉え、広域的な活動を開始することとなった。</p>	<p>中央区全体で自転車利用者に対して標柱幕による交通安全啓発活動に取り組むことにより、自転車事故を撲滅する。</p>	<p>・事故が発生しやすい交差点等に「自転車も止まれ！」の標柱幕を掲出することにより、自転車利用者への啓発活動を行い、自転車事故撲滅につなげる。</p> <p>・標柱幕を設置することにより各地区における交通安全の機運を高め、啓発活動を実施する。</p>	H30.1.29	2,387,000	2,387,000	2,387,000
							うち上溝地区分	うち上溝地区分	うち上溝地区分
							496,000	496,000	496,000
							1,584,000	1,371,000	1,371,000